

七ころび 八起き

第4号
平成24年
春号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>



生活訓練センター竣工

精神科治療の飛躍的な発展は1952年のクロールプロマジンの出現から始まったのは自明のことと思われまます。以来薬物療法は精神科治療を常にリードしてきました。今日もまた優れた薬物が輩出してきています。



院長 森 隆志

しかし、精神科治療における薬物療法は車の一輪であり、もう一輪として精神科医療において脈々と続いてきた生活療法があることを忘れてはならないと思っています。

両輪が揃ってこそその精神科治療。一つの輪が進歩し、大きくなってきたのに対してもう一つの輪も進歩しなければならないと思う故にこの精神科医療に対して逆風の吹く時期に敢えて生活訓練センターなるものを立ち上げました。



当院の生活訓練センターに対する御理解と御協力を宜しくお願いいたします。



☆新“グラウンド”紹介☆

新グラウンドは、
1F：駐車場、2F：人工芝グラウンド
の2階建て構造になっています。
院内の中心部に位置し、生活訓練センターと新病棟の間に隣接されており、バスケットゴール、バレーボールネットなども設置され、各種スポーツが楽しめます。



～グラウンド・駐車場～
階数 鉄骨造地上2階
延床面積 2,060㎡



この度『生活訓練センター』が完成いたしました!

作業療法では、生活のしづらさがある方々に対して、その人らしい生活の獲得を目的とし、健康的に社会の中で生活していけるような支援を目指しています。生活訓練センターでは、さまざまな空間を活動内容に合わせて作ることができます。その空間を用いて、個々のニーズに合わせた日中活動の提供を行います。また、生き生きとすごせる場や癒される場として集いあえるような空間となるように、取組んで生きたいと思っております。

次の下記図面により建物の構造、機能を紹介します。



生活訓練センター2F

☆“生活訓練センター”は、隣接した人工芝のグラウンドで行う活動や室内活動をスムーズに行えるよう、また、病棟との連携が行いやすいように、2Fスペースを中心とした構造になっています。

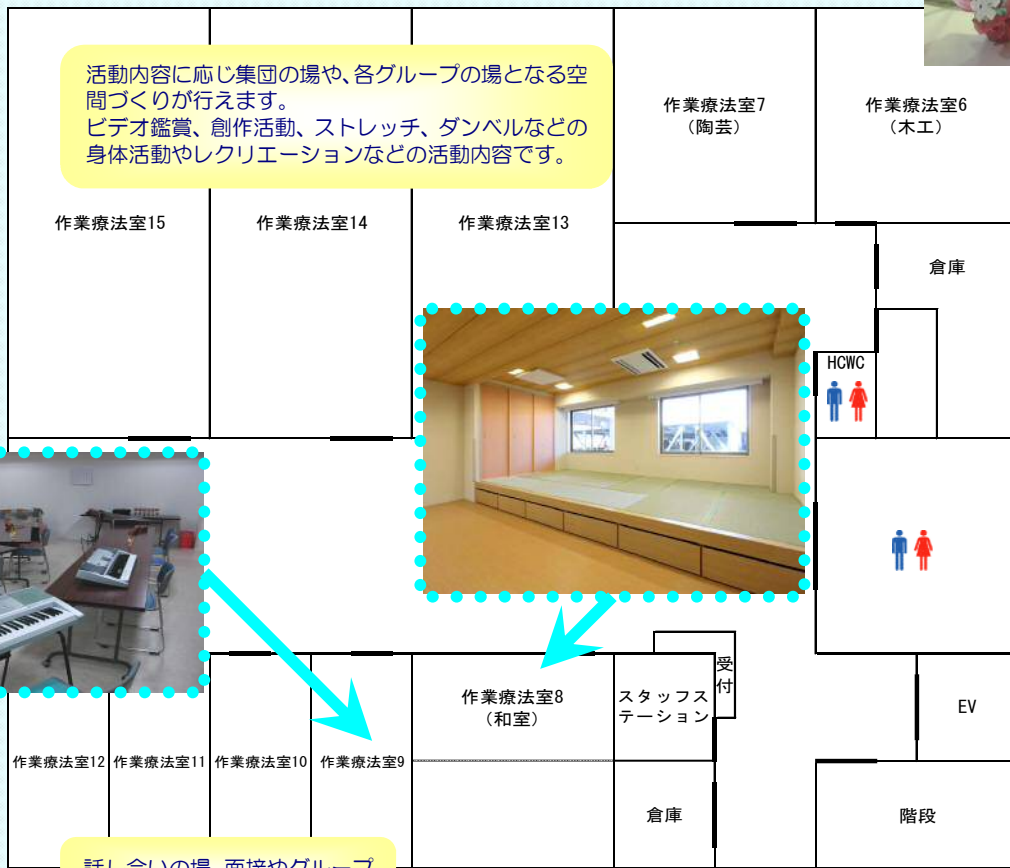


エアロバイク、卓球などの身体活動や手芸、パソコン、学習(計算・漢字など)、習字、絵画などの創作活動、その他オセロ、将棋、トランプ、音楽鑑賞、読書やリラックスなどを個人で選び日中活動を行う場所です。

静かに過ごしたい時やリラックスクスしたい時などに利用できる空間です。



生活訓練センター1F



医局コラム vol.3



「雨ニモマケズ」

診療部長 高内 茂

はじめてこのコラムを書くことになり、少し気取ってみます。

私は1979年10月から1年間パリのサルペトリエール病院（パリ第6大学）神経病理部および院外の国立医学研究所に留学しました。その時お世話になったのがミッシェル・ファルドー先生でした。そのファルドー先生が50年近く勤めたサルペトリエールを定年退官されるにあたって2000年12月に国際シンポジウムが開催されました。日本からも国立精神神経研究所の杉田一郎総長（当時）などが参加され、私ども夫婦も招待されました。数多くの研究発表の最後にファルドー先生の特別講演がありました。「見ること *regarder*、聴くこと *écouter*、愛すること *aimer*」と云う題で話されました。先生の臨床経験のエッセンスがそのお人柄を通して表現され、参加者一同深い感銘を受けました。

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の一節にも“アラユルコトヲジブンヲカンジョウニ入レズニヨクミキキシワカリ・・・”とあります。

容易いことではありませんが、私たちの仕事の基本だと思います。





取 り 組 み

地域医療連携室（だるま家族会）看護師との話し合いの会

だるま家族会では2月4日に“家族と看護師の意見交換会”を行いました。会では患者様との接し方を具体的に話し合ったり、家族の想いや気持ちを直接看護師に伝えたりと、多くの意見を交換することが出来ました。ご家族からは「看護師さんに家族自身の気持ちを聞いて貰え『どんな些細な事でも気軽に私たちに声をかけてください』と言われた事がとても嬉しかった」との感想を頂きました。双方にとって良い刺激・学びの場となりました。



給食管理課

2月20日、西3階にて病棟レクで「寄せ鍋会」を開催しました☆患者様の積極的な参加により、笑顔溢れる会となりました♪



外来診察のご案内

* 外来変更のお知らせ *

H24.4.1 より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|----|----------------|---------------|--------------|------|
| 午前 | 森院長 | 玉田 | 森院長 | 森院長 | 高内 | 森理事長 |
| | 田原 | 木村 | 高内 | 太田 | 木村 | 森院長 |
| | 藤田 | 太田 | 浅野 | 田原 | 藤田 | 浅野 |
| | | 大村 | | | | 大西 |
| 午後 | 玉田 (再診のみ) | | 森院長 〈物忘れ外来〉 | 堀野 〈思春期外来〉 | 大西 (再診のみ) | |

平成24年4月現在

広報誌(PDF)はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

朝晩はまだ冷えますが、日中の日差しは少しずつ暖かくなり、季節の移ろいを感じる今日この頃です。さて、今年度を新しい施設と共に迎えることとなりました。スタッフ一同、新たな気持ちでますます励んでいきたいと思っております。

広報担当

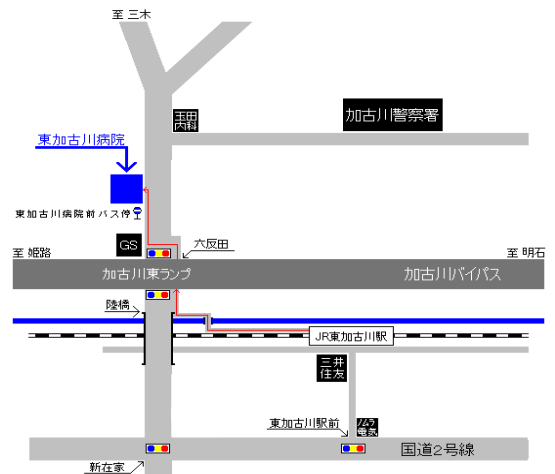
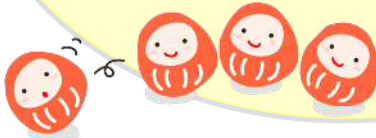
医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3
TEL : 079-424-2983 (代表)
FAX : 079-424-2985
HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では2004年にISO9001
を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ①公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)